

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスのぞみ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 30日	～	令和8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日	～	令和8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		
○分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまの苦手なことに対しモジュールステップで取り組み、楽しみながら活動を行えるように内容を設定し、活動を実施している。	「楽しい！」から始められるよう、まず職員がお手本として楽しんでいる姿勢を見せてあげ、苦手意識の軽減や活動への参加を促す工夫をしています。	褒めてあげる職員のスキルの向上に取り組む。
2	保護者との情報共有	保護者と連絡情報アプリを使用し、活動の記録(支援の内容や子どもの様子)や学校の情報、下校時間の変更などのやりとりがスムーズにおこなえている。また保護者からの相談についても、そのアプリを通じ迅速に対応するよう心がけている。	専門的な助言ができるよう、研修等に参加し知識を身につけたい。
3	見守り型ではなく、構造化された環境でスケジュール化された活動を行えています。	ホワイトボードに今日の活動予定を提示し、視覚支援を取り入れながらお子さまに「分かりやすい」環境、そして活動になるように取り組んでいます	わかりやすい指示や声掛けの知識をもっと身に付けていきたい。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流会の機会を設けられていないこと。	保護者の予定調整が難しく、開催に至っていない。	・保護者の方へニーズチェックを行い、希望に応じて保護者交流会を開催する。 ・オンラインでの開催も検討し、参加しやすい環境を整える。
2	非常勤職員への情報共有等の認識のずれが見られる。	出勤日数が少ないや勤務時間が短く、出勤時間は療育時間内の為共有する時間がない等の理由から、情報の共有にずれが見られる事があった。	今後は情報共有の方法や記録フォーマットを統一し、誰が見ても同じ水準で把握できる情報管理体制の構築を目指します。これにより、支援の質と職員間連携のさらなる向上となると考えます。
3	バリアフリー化されていないため、ご利用者さまが知的障害、発達障害、ダウン症などのお子さまと限られ、身体に障がいのあるお子さまの受け入れが困難となっています。	身体障がいを含めて、可能な範囲で幅広いお子さまにご利用いただけるように務めています。	費用に限りがありますが、可能な範囲で取り組んでいきます。